

飛騨高山観光特集

コロナ疲れは飛騨高山で癒やそう

飛騨山脈の自然に抱かれた奥飛騨温泉郷

雄大な自然をバックに、野趣あふれる露天風呂で心も体もリフレッシュできるのが飛騨山脈(北アルプス)の温泉郷だ。

どの距離、湯量豊富で、露天風呂は大小合わせて100カ所以上あり、その数日本一といわれる。新穂高ロープウェイや上高地、乗鞍スカイラインを日本屈指の山岳景勝地と近く、雄大な自然を満喫できる。

平湯温泉は温泉郷の中で一番古くからある温泉地。関東方面からのアクセスも良く、上高地や乗鞍岳のシャトルバスが発着する平湯バスターミナルがある。自家源泉を持つ宿が多く、入浴施設や足湯も充実。

福地温泉は温泉郷の中でも山の静寂に包まれた秘湯的な温泉地。温泉街には朝市があり、地元の特産品を買つことが出来る。飛騨地域や新潟の古民家を移築、改装した宿も多い。

新平湯温泉は温泉郷のほぼ中央に位置し、小規模から大規模までさまざまなタイプの宿泊施設がある。飲食店も多い。名水一たるま水もあり、名水の里ともいわれている。

個性豊かな五つの温泉地 日本一、100を超える露天風呂

ルプスの麓に広がる奥飛騨温泉郷だ。平湯、福地、新平湯、福尾、新穂高の五つの温泉地がある。高山市内からはバスで1時間ほど

新穂高温泉は北アルプスの登山口の合流地帯に広がる温泉地。蒲田川はイワヤヤマなど清流魚の宝庫としても知られ、釣り人にも人気。

新穂高温泉は北アルプスの登山口にある温泉地。エリア内には奥飛騨最大の観光スポット、新穂高ロープウェイがあり、多くの観光客にぎわっている。

宿泊客に好評 「湯巡り手形」

奥飛騨温泉郷で売られている湯巡り手形「奥飛騨湯めぐり達人」が宿泊客に好評。豊富な湧出量を誇る奥飛騨の温泉を心ゆくまで楽しめる手形だ。

手形は一枚1200円。手形に付いている3枚の入浴シールを利用して、温泉郷の14の加盟施設からお気に入りの温泉を選んで入浴できる(施設により枚数が異なる)。シールをはがすと下地に温泉郷

充実する体験観光

E-BIKEで 上高地まで快走



レンタルサウナ

奥飛騨温泉郷の自然体験プログラムが充実している。E-BIKE(電動アシスト機能付き自転車)によるサイクリングやB&B体験、温泉講座などがあり、温泉との組み合わせで楽しみが倍増しそうだ。

E-BIKEサイクリングは6月中旬〜7月中旬開催予定。標高1300m以上の平湯温泉から同1790mの安房峠を越え、長野県の上高地まで往復(片道21km)する。負担も少なく、女性や中高年でも十分に楽しめる。

参加料、E-BIKEレンタル料は9千円。上高地で利用できるカフエチケットやひらゆの森のテントサウナ体験とB&Bが楽しめるのが、清流・高原川流域の広大なキャンプ場の敷地を利用して

E-BIKEで美しい景色を堪能



100を超える露天風呂がある奥飛騨温泉郷(新穂高の湯)

のマークが印刷されており、三つそろった記念品が当たるチャンスも。加盟施設や案内所で購入できる。温泉郷や手形などに関する問い合わせは奥飛騨温泉郷観光協会、0578(89)2614。

6月11日開催 3500人参加予定

「日本一過酷な難コース」ともいわれ、フルマラソン完走経験者だけが参加できる「飛騨高山ウルトラマラソン」が6月11日に開催される。11回目。新型コロナウイルスの影響で2021年は中止となったが、昨年は3年ぶりに開催約2500人が出場した。コロナ禍も収束の兆しをみせ、マラソン愛好者からは本格開催に期待の声が上がっている。

コースは新穂高山ヒックアップコースを発着点とする100km717mで、計3500人の参加を見込んでいる。制限時間はそれぞれ14時間、11時間と設定されている。

参加資格は大会当日18歳以上で、フルマラソン完走経験のある健康な男女。参加費は10000円の部が2万2千円、717mの部が1万円。めぐるイベントで、題して「丑感で味わう」との「BBQ体験」だ。

BBQの食材は飛騨牛3種の部位食べ比べのほか、地元野菜を用いる。炭や網、鉄板なども準備している。手ぶらで参加できる。料金は施設内の温泉露天風呂入浴券付きで8千円(飲み物別)。申し込み期限は利用日の3日前まで。定員1回当たり12人。問い合わせは奥飛騨温泉郷観光協会、0578(89)2614。

講座「たのしい温泉講座」は7月22、23日に開催。講師は温泉のスペシャリスト、古田靖志さん。温泉や現地の温泉巡りなどを通じて、奥飛騨、そして温泉の魅力を気軽に楽しく学べる。対象は小学生以上で、「夏休みの研究課題にも応用可能」という。申し込み期限は開催日の5日前まで。定員は1日最大15人。参加料は実験材料費やひらゆの森温泉入浴券、保険料込みで中学生以上3千円、小学生千円。問い合わせは奥飛騨温泉郷観光協会。

ウルトラマラソン

8000円。参加費として大会料リジナルグッズ、完走者には認定メダルが贈られる。

伝統的で古い町並や自然豊かな集落を走るコースを走るのはチャレンジだけに与えられた特権。地元スタッフのおもてなしも楽しめる。できるエピソードもあついている。

この大会は参加人数に応じた寄付金を日本ユニセフ協会連盟に寄付し、世界遺産の保護・保全に役立ててもらっている。問い合わせは大会事務局、0578(89)2614。



国内屈指のマラソンコースにチャレンジ

新穂高ロープウェイ

山頂エリアに 展望デッキ登場

奥飛騨温泉郷にある新穂高ロープウェイの山頂エリア(標高2156m)が昨年10月、リニューアルした。エリアの楽しみが増え、コロナ禍で落ち込んだ観光客の回復が期待される。運営会社、奥飛騨観光開発(株)屋敷が、展望デッキを再開設する。その第一エリアに「山頂」エリアに「頂の森」が開業した。ロープウェイ西穂高駅周辺に展望デッキや自然に囲まれたから飲食ができるスペースが作られた。展望デッキは「檜の回廊」として、檜の回廊と「頂の森」が隣接する。西穂高駅周辺に展望デッキや自然に囲まれたから飲食ができるスペースが作られた。展望デッキは「檜の回廊」として、檜の回廊と「頂の森」が隣接する。



展望デッキ、檜の回廊

酒蔵巡るのん兵衛まつり

6酒蔵が参加 ほろ酔い気分

古い町並が残る「さんまちエリア」の酒蔵を巡りながら、日本酒の試飲とまち歩きを楽しむ第4回の「飛騨高山酒蔵のん兵衛まつり」が6月9日から7月14日まで開催される。主催は飛騨・高山観光コンベンション協会。のん兵衛まつりは、100年以上の歴史をもつ平瀬、二木、平田、老田、船坂、原田の六つの酒蔵を巡り、それぞれの日本酒を味わってもらおう。この酒蔵や中橋観光案内所、高山遊歩道バスセンターで「飛騨高山酒蔵のん兵衛まつり」(3千円)を購入すると、各酒蔵で2種類の日本酒を試飲できる。セットには特製エコバッグと記念杯が付いている。六つの酒蔵で試飲し、スタンプを集めると達成記念のフレセントがもらえる。また、酒蔵で買い物をする、千円ごとに押印され、集めた数でペア宿泊券や飛騨牛など豪華賞品が当たる抽選に参加できる。



のん兵衛まつりの試飲コーナー。日本酒の味比べを

風情ある東山遊歩道

文化財が集積 散策にピッタリ

気を感じさせるのが東山エリアで、散策にはもってこいの場所だ。多くの寺院や神社があり、風情ある建物や庭園をゆっくり巡れる「東山遊歩道」(全長5.5km)が整備されている。高山の礎を築いた戦国武将の金森長近公ゆかりの禅宗寺院などが建ち、東山寺院群が形成されている。遊歩道はそれら貴重な文化財を巡るルートでもある。本堂が県指定文化財とされている法華寺、鐘樓門が市指定文化財の雲龍寺、座禅体験ができる善徳寺など見どころも多い。近くにある江名子川遊歩道もぜひ訪れてみたい。小さな橋がいくつも架がり、趣のある風景が楽しめる。



素文寺近くの石畳。静かな雰囲気は散策にもってこい